

一橋大学(学部入学定員:955人)

[取組学部・研究科等: 商学部(275人), 経済学部(275人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

現実を踏まえた理論構築能力と優れた語学力・コミュニケーション能力を中核に置いて、日本のシステムを改革できるイノベーション能力、世界標準を創り上げる論理展開能力、政策提言能力、アジェンダ設定能力という全6つの資質を有するグローバル・リーダーを育成する。

【構想の概要】

商学部、経済学部それぞれから優秀な学生を1年次末に各15名程度選抜し、グローバル・リーダーズ・プログラムを実施する。英語による専門科目プログラムを独自開発し、短期海外研修や3年次での長期留学などを活用してグローバル・リーダーの育成を加速する。全学への波及効果を促進するとともに、派遣留学制度や就職支援など充実した全学的サポートを行なう。

■ グローバル人材として求められる能力の育成

○ 理論構築能力

母語による充実した教育の基盤を活用してグローバル・リーダーの育成を促進する。優れた研究者・教育者が少人数ゼミを通して母語での理論的フレームワークを徹底的に指導する。濃密な指導を通じて現実を踏まえた理論構築能力を育む。

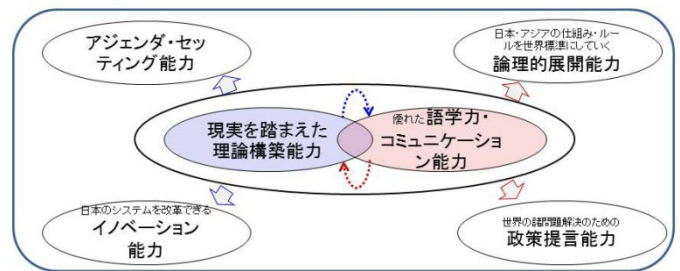
○ 優れた語学力・コミュニケーション能力

理論的な思考力を育成すると同時に、優れた語学力・コミュニケーション能力を育成するべく、商学部・経済学部ともに、1年次に英語スキル科目、2年次以降の英語での専門科目を開発し、英語による独自の専門教育プログラムを構築する。その後、短期留学や海外研修を通じて集中的かつ継続的な英語教育・英語体験を蓄積させ、優れた語学力・コミュニケーション能力を培う。

理論構築能力と語学力・コミュニケーション能力の融合により培われるリーダー能力

○ 理論構築能力と語学力・コミュニケーション能力の融合により培われるリーダー能力

上記2つの能力を融合し、さらに長期留学や海外インターンシップを通して、現実の問題解決を英語で行なう場数を踏ませ、グローバル・リーダーに求められるアジェンダ・セッティング能力、イノベーション能力、論理的展開能力、そして世界の諸問題解決のための政策提言能力を養う。



(6つの資質と能力)

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 効果的な語学教育及び教育体制

商学部では、1クラス15名程度の小規模な編成を行なって、「書く・プレゼンする」を中心としたインタラクティブな英語スキル科目を開発し、1年次に週2コマ(1.5時間×2)集中履修させる。PACE(Practical Applications for Communicative English)と呼ばれるこのプログラムを通じて、1年次に大幅に英語力を高め、2年次以降の英語による専門科目と海外留学に備えさせる。

経済学部では、学術英語スキル導入科目 および 英語による基礎ゼミを活用して、1~2年次に英語力を高め、2~3年次以降の英語による専門科目履修と海外留学および短期海外調査への準備を行なう。経済学部では英語による教育経験を積んだ教員も多く、卒業に必要な専門科目単位の約6割を英語による専門科目授業として履修可能なプログラムを用意する。

商学部・経済学部ともに、1年次に英語力を大きく高めた上で、英語による専門科目を履修するグローバル・リーダー・プログラムへの参加をさせていく。参加資格者は1年次の末に決定する。それまでの間は多くの学生に参加可能性が開かれている。また他学部の学生が両プログラムの英語専門科目を履修するなど、全学への波及効果が得られるような工夫が施される。

■ グローバル教育力・学生対応力の向上

○ 教育体制のグローバル化

外国人教員の採用や海外の大学での教育経験または外国語による教育経験を有する日本人教員の配置等に取り組む。国際的な教員のリクルート体制について、国際公募等の方法も含めて開発を進めていく。

○ 事務体制のグローバル化

一定の語学能力を有する日本人職員の採用、事務職員の海外研修の機会・期間の拡大と事務職員の配置換えをリンクし、事務体制のグローバル化を図る。

○ グローバルな教育体制の整合化

全学的に進められている海外の交流校との調整作業をさらに進め、国際的な教育体系との整合化を進めていく。その経験を通じて、社会科学系教育のグローバル化について、国内外に知見を発信していく。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

学内での英語スキル科目の充実により、海外生活、留学経験のない学生にも留学への興味を持たせ、APLAC(アカデミック・プランニング・センター)では留学を前提として履修科目のアドバイスをを行う。また、留学しやすいようカリキュラムや単位互換制度を改革する。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

APLACやゼミの指導教員による学修指導、学生相談室による相談体制を充実させる。帰国学生のスキルを維持するためのステイ・ネイティブ・プログラムを設置し、同時に大学院進学支援または、キャリア支援を強化する。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

本構想のもと学生が修得すべき具体的能力は、7つである。

1. 経営学・経済学の深い専門能力
2. 社会科学全体についての広い知識
3. 実践的な問題解決をできる応用力
4. 外国語能力
5. ビジネスの場で英語によって国際的に議論展開できる能力
6. グローバルリーダーシップ能力
7. 説得力

商学部リーダーズ・プログラムでは、自身の研究テーマについて英語でのプレゼンテーションを日常的に行えるようにし、さらに、海外でのインターンシップや学生交流の場での活躍が期待されている。プログラム以外の学生は、一年次の集中的な英語スキル教育の成果と、プログラム履修者の波及効果により、学部全体で上位20パーセント程度が海外への語学留学や短・長期留学に積極的に参加し、国際的に学生同士のビジネスに関する議論を自然に行える水準を目指す。

経済学部リーダーズ・プログラムでは以下の能力を養成する。

1. 経済学の専門知識と分析方法の基礎の上に、適格な調査・研究を行う能力
2. グローバルな視野と市民としての価値観を持ち、人口の高齢化、地球環境といったグローバル社会の諸課題の解決に向けて、政策提言を行う能力。
3. 調査・研究報告書などを英語でまとめ、英語で発表し、英語でディスカッションする能力。
4. 卒業・修了後には、海外のトップクラスの大学院への進学も可能となるレベルの専門知識と英語力。

本構想において実現する達成目標

全学		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語カスタンダードを満たす学生数				30人	40人	50人	116人
うち海外留学未経験者数 (A)				10人	10人	10人	10人
海外留学経験者数 (B)		69人	72人	85人	100人	115人	159人
卒業[予定]者数 (C)		564人	709人	550人	550人	550人	550人
比率 ((A+B)/C)				17.3%	20.0%	22.7%	30.7%
商学部 リーダーズ プログラム	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT 100		- (-)	- (-)	- (-)	12人(0)
	海外留学経験者数	-	-	-	-	-	12人
	卒業[予定]者数	-	-	-	-	-	12人
商学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT 90		15人(5)	20人(5)	25人(5)	52人(5)
	海外留学経験者数	35人	32人	40人	50人	60人	70人
	卒業[予定]者数	286人	361人	275人	275人	275人	275人
経済学部 リーダーズ プログラム	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT 95		- (-)	- (-)	- (-)	12人(0)
	海外留学経験者数	-	-	-	-	-	12人
	卒業[予定]者数	-	-	-	-	-	12人
経済学部	卒業時の外国語カスタンダード	TOEFL iBT 85		15人(5)	20人(5)	25人(5)	40人(5)
	海外留学経験者数	34人	40人	45人	50人	55人	65人
	卒業[予定]者数	278人	348人	275人	275人	275人	275人

※1)「外国語カスタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語カスタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※2)上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。